平成 26 年 5 月 26 日

関係各位

国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科長

教員（特任助教）の募集について

本研究科では下記により教員（特任助教）を募集いたします。

記

1. 募集人員：特任助教 1 名

2. 所属：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

附属演習林は、北海道から愛知県にかけて設置された 7ヶ所の地方演習林と東大弥生キャンパスにある企画部・教育研究センターによって構成される森林に関わる教育研究のための施設である。教育研究利用のための森林管理、学生実習の受け入れ、試験研究の受け入れ、長期にわたる森林観測研究の実施等を組織的に行っている。附属演習林所属教員は、生圏システム学専攻および森林科学専攻の協力講座あるいは兼任教員として大学院教育に関わっている。

3. 募集職の教育研究分野と職務内容

教育研究分野：森林をフィールドとした動物生態学を研究している者。哺乳類とくに大型哺乳類の個体群生態学・密度管理に関する研究を行っている者优先。共同研究を進められる能力を重視する。将来的に、プロジェクト研究を推進できるような人材を希望する。

職務内容：森林圏生態学研究室に所属し、専門分野に関わる教育研究活動（担当分野の大学院・学部講義及び学生の研究指導を含む）に加え、演習林の管理運営に携わる。

4. 勤務地

千葉演習林（千葉県鴨川市）、北海道演習林（北海道富良野市）、秩父演習林（埼玉県秩父市）、田無演習林（東京都西東京市）、生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）、富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）、樹芸研究所（静岡県南伊豆町）、企画部・教育研究センター（東京都文京区）のいずれにも配置および異動の可能性がある。

5. 採用予定時期：平成 26 年 11 月 1 日以降

6. 応募資格：下記のすべてに該当する者

- (1) 博士の学位を有し、「3」に掲げる教育研究分野において優れた教育研究業績を有する者
- (2) 上記の教育研究業績をもとに学生の教育指導等を積極的に行える者
- (3) 講義担当、演習林の管理運営を含め「3」に掲げる職務内容を積極的に担当可能な者

7. 留意事項

- (1) 任期は今年度末までとし、来年度以降更新した場合でも通算5年を上回らない。
- (2) 助教ポストが配置されれば、それに振り替えることがある。
- (3) 給与等雇用条件は本学の規程による。

8. 選考方法

附属演習林特任助教選考委員会にて選考し、研究科教授会の議を経て候補者を決定する。
なお、必要に応じて平成26年8月20日(水)に面接を行う(面接の際の交通費は支給しない)。候補者決定後、選考結果を応募者に通知する。応募書類は返却しない。

9. 提出書類：各1部

- (1) 履歴書(高校卒業以降の学歴および職歴を含む)
- (2) 研究業績目録(学位論文、原著論文、著書、総説、その他)
- (3) 教育業績目録(担当講義・演習・実験等科目、非常勤講師、その他)
- (4) 社会貢献目録(委員会委員、学会役員、その他)
- (5) 主要論文の別刷り(3編程度)
- (6) これまでの研究の概要および今後の研究計画(2,000字程度)
- (7) 教育計画(1,000字程度)
- (8) 演習林の管理運営についての考え(1,000字程度)
- (9) 応募者の研究内容について照会できる者2名の氏名、所属・職名、連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)

10. 応募期限：平成26年7月8日(火) (必着)

11. 応募書類送付先および問い合わせ先：

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部 石橋整司
Tel. 03-5841-8640 e-mail:bashi@uf.a.u-tokyo.ac.jp

封筒に「附属演習林特任助教(森林圏生態学分野)応募書類」と朱書き、簡易書留にて郵送すること

12. その他：応募書類は本応募の用途に限り使用し、提出された個人情報については、正当な理由なしに第三者へ開示、譲渡および貸与することはしない。

附属演習林の概要および森林圏生態学分野に関する情報等は下記のホームページを参照のこと。

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/>

なお、本研究科では、履歴、業績(研究業績、教育業績、社会貢献)、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用する。

以上